



気仙沼市とイオン株式会社との地域連携協定の締結について

宮城県気仙沼市（市長：菅原 茂）とイオン株式会社（取締役兼代表執行役社長：吉田 昭夫）は、地域のさらなる活性化と市民サービスの向上を図ることを目的に、地域連携協定を締結します。

気仙沼市とイオンは、地域連携協定において子どもと青少年の育成、防災、気仙沼市産品の販路拡大など、幅広い分野で緊密な連携を図ります。

本協定の取り組みの一環として、イオンは8月6日（金）よりご当地WAON「海の子ホヤぼーやWAON」を発行いたします。カードの表面には、気仙沼湾に架けられた「気仙沼湾横断橋」やドラマの舞台となっている「気仙沼大島」を背景に、サメのリアス号に乗った気仙沼市観光キャラクター「海の子ホヤぼーや」が海から飛び出している可愛らしいデザインになっています。



<表面>



<裏面>

イオンは、2009年より日本各地の自治体との連携のもと、利用金額の一部が地域社会への貢献につながる「ご当地WAON」の発行を行っております。今回発行される「海の子ホヤぼーやWAON」を含め、合計159種類となります。全国約84万カ所のWAON加盟店で「海の子ホヤぼーやWAON」をご利用いただくと、その売上金額の一部をイオンが気仙沼市に寄付し、気仙沼市は子育て支援や青少年の育成等に活用いたします。

本協定を機に、気仙沼市とイオンは連携して、地域の活性化や市民の皆さまへの新しいサービスの創出に取り組んでまいります。

【地域連携協定の概要】

- (1) 子どもと青少年の育成に関すること
- (2) 地域防災と災害対策に関すること
- (3) 市産品の販路拡大に関すること
- (4) 市政情報と観光情報の発信に関すること
- (5) 健康増進に関すること
- (6) 環境保全とリサイクルに関すること
- (7) 地域や暮らしの安全・安心に関すること
- (8) 高齢者と障がい者の支援に関すること
- (9) その他、地域の活性化及び市民サービスの向上に関すること
- (10) 地域WAONカード活用に関すること

ご参考

<「海の子ホヤぼーやWAON」の概要>

- ・販売開始：2021年8月6日（金）
- ・販売場所：宮城県内の総合スーパー「イオン」を中心に販売いたします。
※順次販売エリアを拡大予定
- ・発行手数料：1枚300円（税込）
- ・ポイント特典：イオンのグループ対象店舗にてご利用金額200円（税込）ごとに2WAON POINTが貯まります。
※あらかじめ会員登録が完了した電子マネーWAONの支払いが対象
※上記以外の加盟店では200円（税込）ごとに1WAONポイントが貯まります。
WAON POINTをWAON（電子マネー）に交換すると、
1ポイント＝1円相当で使うことができます。
- ・寄付について：「海の子ホヤぼーやWAON」ご利用金額の一部をイオンより気仙沼市に寄付し、気仙沼市の子育て支援や青少年の育成にお役立ていただきます。

<電子マネーWAONの概要>

イオンが提供する電子マネー。チャージ(入金)するとお買物などにご利用が可能で、ポイントもたまります。

◇累計発行枚数：約8,766万枚（2021年6月末現在）

◇利用可能カ所：約84万カ所（2021年6月末現在）

※うち自動販売機・宅配便ドライバー端末 約29万1,000カ所

◇「ご当地WAON」の総寄付額：約20億1,131万円（2021年2月末現在）

【電子マネーWAON(ワオン)公式サイト URL：<http://www.waon.net/>】

【イオン気仙沼店での地域連携協定のイベントについて】

1. 9月5日（日）市と協働の子育て家庭への支援イベントを実施

毎月第一日曜日は「イオン気仙沼店 こどもの日」として、色々な企画のイベントを実施しており、9月5日（日）は、気仙沼市と協働して子育て家庭が気軽に集まって相談や交流を行うイベントや情報発信を行います。

2. 市内の高等学校の作品を展示

気仙沼高校、気仙沼向洋高校、本吉響高校、東陵高校の生徒による、柱の壁をキャンパスに制作した絵画や写真などの作品を展示します。

3. 地元メーカー協働による限定商品を販売

「横田屋本店」の海苔や「気仙沼ほてい」の缶詰において、イオン気仙沼店の限定商品を販売します。

4. 気仙沼向洋高等学校が製造した商品を販売

気仙沼向洋高等学校の生徒が製造した水産加工物や釣り具などの販売を計画しています。



「横田屋本店」の海苔